

科目名		臨床実習			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	113回	時間数	225時間	(5単位)	配当学年・時期	救急救命士科2年	通年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 ①医療現場の実態に触れ、医療従事者としての自覚をもつ。 ②通報内容～搬入、救急隊と病院の連携を知りプレホスピタル・ケアの重要性を認識する ③病院(医療機関)の機能を理解し、緊急処置が必要な患者への対応能力の向上を図る。 ④観察や判断、評価する能力の向上を図る。 ⑤インフォームドコンセントの重要性を理解する。 ⑥医療者の接遇を通して患者と家族への思いやりの大切さを学ぶ。									
〔授業全体の内容の概要〕 ①病院実習前レポート課題 ②筆記、実技試験 ③ER想定オリエンテーション、レポート作成 ④病院実習後症例報告会を実施 2次医療機関施設→3次医療機関施設実習									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 ①病院実習を通じて病院の機能を理解する。 ②実際の患者に対する接し方や観察要領を修得する。 ③講義や実技訓練で体得した技術を患者に適用する。 ④病院実習を通じて習得した事をもとに、学内のシミュレーション実習に活かす事ができる。									
回数	講義内容								
1～113	臨地実習要綱に基づき実習を行う。								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
特になし		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

学科規定に準じる。
